

平成30年度
第2回 議案

日時/ 平成31年1月16日(水)
午後4時00分

場所/ 八雲町立図書館
2階 集会室

八雲町立
図書館
協力
議
会

平成30年度 第2回 八雲町立図書館協議会 議件一覧

区分	番号	件名	進行
報告	第1号	平成30年度 八雲町立図書館・熊石総合支所図書室 利用状況について	①
	第2号	平成30年度 八雲町立図書館 施設利用状況について	②
	第3号	平成30年度 八雲町立図書館・熊石総合支所図書室 事業実施状況について	③
	第4号	平成30年度 読書感想文・感想画コンクール審査結果について	④
	第5号	「八雲町子どもの読書活動推進計画」策定状況について	⑤
議案	第1号	平成29年度 八雲町教育委員会事務事業評価について	⑥

平成30年度 八雲町立図書館・熊石総合支所図書室 利用状況について

(1)八雲町立図書館(本館) ※団体貸出を除く

	開館 日数	利用者数			貸出冊数					来館者数
		一般	児童	計	一般書	児童書	雑誌	AV資料	計	
4月	25	1,068	240	1,308	3,204	2,005	208	129	5,546	3,398
5月	25	1,026	217	1,243	3,079	1,936	211	81	5,307	3,703
6月	26	1,124	209	1,333	3,479	1,967	212	83	5,741	3,889
7月	27	1,076	234	1,310	3,209	2,051	202	119	5,581	4,002
8月	28	1,126	292	1,418	3,131	2,180	234	209	5,754	4,351
9月	21	907	184	1,091	2,869	1,614	162	111	4,756	2,860
10月	27	1,146	249	1,395	3,424	2,121	240	106	5,891	4,131
11月	25	1,108	199	1,307	3,232	2,190	198	69	5,689	4,078
12月	24	995	207	1,202	3,202	2,346	235	49	5,832	3,513
1月				0					0	
2月				0					0	
3月				0					0	
合計	228	9,576	2,031	11,607	28,829	18,410	1,902	956	50,097	33,925
前年度	229	10,173	2,641	12,814	30,202	21,483	1,841	1,418	54,944	37,311
比較	△ 1	△ 597	△ 610	△ 1,207	△ 1,373	△ 3,073	61	△ 462	△ 4,847	△ 3,386

(2)移動図書館 ※団体貸出しを除く

	一般	児童	計	一般書	児童書	計
4月	46	132	178	107	521	628
5月	54	136	190	104	544	648
6月	44	137	181	118	545	663
7月	53	142	195	139	555	694
8月	47	110	157	117	431	548
9月	45	115	160	107	487	594
10月	46	125	171	112	519	631
11月	52	128	180	123	492	615
12月	58	141	199	145	606	751
1月			0			0
2月			0			0
3月			0			0
合計	445	1,166	1,611	1,072	4,700	5,772
前年度	482	1,315	1,797	921	5,189	6,110
比較	△ 37	△ 149	△ 186	151	△ 489	△ 338

(3)団体貸出 ※本館・移動図書館合計

	団体数	一般書	児童書	計
4月	38	259	751	1,010
5月	26	248	562	810
6月	40	265	901	1,166
7月	28	255	527	782
8月	28	248	698	946
9月	34	280	1,063	1,343
10月	30	250	686	936
11月	35	323	828	1,151
12月	20	193	269	462
1月				0
2月				0
3月				0
合計	279	2,321	6,285	8,606
前年度	264	2,135	5,989	8,124
比較	15	186	296	482

(4)熊石総合支所図書室利用状況

	利用者数			貸出冊数		
	一般	児童	計	一般書	児童書	計
4月	25	2	27	68	14	82
5月	18	3	21	55	19	74
6月	28	2	30	69	21	90
7月	28	1	29	74	15	89
8月	21	3	24	63	19	82
9月	22	0	22	72	2	74
10月	30	0	30	89	0	89
11月	22	0	22	67	0	67
12月	20	1	21	48	20	68
1月			0			0
2月			0			0
3月			0			0
合計	214	12	226	605	110	715
前年度	214	8	222	541	90	631
比較	0	4	4	64	20	84

(5)相互貸借（他館との資料貸し借りの状況）

	貸出冊数(八雲⇒他館)				借受冊数(他館⇒八雲)			
	一般書	児童書	雑誌	計	一般書	児童書	雑誌	計
4月	14	4	0	18	41	4	0	45
5月	8	0	3	11	45	3	0	48
6月	10	2	0	12	41	8	0	49
7月	9	0	0	9	33	3	0	36
8月	6	1	0	7	38	2	0	40
9月	0	4	0	4	35	7	5	47
10月	6	5	0	11	57	5	0	62
11月	17	3	3	23	37	11	3	51
12月	1	0	0	1	36	4	0	40
1月				0				0
2月				0				0
3月				0				0
合計	71	19	6	96	363	47	8	418
前年度	74	28	6	108	280	46	26	352
比較	△ 3	△ 9	0	△ 12	83	1	△ 18	66

(6)Web公開 / メールリクエスト・Web予約 利用状況

	人数	冊数
4月	30	67
5月	37	86
6月	43	105
7月	25	50
8月	31	79
9月	29	72
10月	31	70
11月	41	78
12月	40	101
1月		
2月		
3月		
合計	307	708
前年度	255	539
比較	52	169

平成30年度 八雲町立図書館 施設利用状況について

Ⅰ平成30年度 八雲町立図書館 施設利用状況 (12月末日現在)

		集会室 (2F)		視聴覚ホール (2F)		ホール展示等
		件数	人数	件数	人数	件数
4月	H30	4	34	5	38	1
	H29	6	74	11	53	1
5月	H30	11	191	10	157	2
	H29	6	66	14	123	2
6月	H30	18	119	9	132	2
	H29	13	93	14	172	2
7月	H30	9	85	12	295	2
	H29	10	110	13	155	2
8月	H30	11	77	10	91	2
	H29	7	66	17	175	2
9月	H30	15	82	6	30	2
	H29	15	150	20	224	1
10月	H30	5	79	10	204	2
	H29	10	140	12	197	2
11月	H30	14	118	10	170	2
	H29	10	113	16	169	2
12月	H30	5	102	17	142	1
	H29	7	113	7	22	1
1月	H30	0	0	0	0	0
	H29	5	54	12	65	1
2月	H30	0	0	0	0	0
	H29	12	63	10	33	1
3月	H30	0	0	0	0	0
	H29	6	71	12	55	1
合計	H30	92	887	89	1,259	16
	H29	84	925	124	1,290	15
	H30-H29	8	△ 38	△ 35	△ 31	1

報告第 3 号

平成30年度

八雲町立図書館・熊石総合支所図書室 事業実施状況について

■平成30年度 八雲町立図書館 (12月末日現在)

事業名	参加人数	事業内容
① おたのしみ えいが会	89人	毎月第2土曜日
② おたのしみ こうさく会	139人	毎月第2土曜日
③ おたのしみ どうわの日	209人	毎月第3土曜日
④ 映画上映会	81人	一般対象 毎月第4土曜日
⑤ おはなしひろば	157人	毎月2回 館内「おはなしのへや」での読み聞かせ
⑥ ブックマラソン(スタンプカード)	230枚	児童対象 貸出冊数相当のスタンプ数に応じた記念品贈呈
⑦ ブックスタート	60人	八雲地域 毎月9か月相談日 熊石地域 乳幼児相談日
⑧ 出前読み聞かせ会	213人	①(乳)幼児・学童対象 6件 ②町内学校対象 3件
⑨ 古本リサイクル市	—	①4月24日▶5月6日 ②10月23日▶11月4日 除籍雑誌・蔵書本、ほか町民持込不要本の有効活用
⑩ 臨時特別開館	—	休日・休館日(月)での臨時開館 ※4月▶9月 計6日 / 10月▶3月 計6日間
⑪ 集会室(学習室)一般開放	91人	八中・八高の定期試験時前を目途に一般開放 ※閲覧室満席状態の緩和案
⑫ 学校図書室支援事業説明会	16人	5月24日(木) 学校(図書室)支援事項等説明会
⑬ ロビーコンサート	120人	7月14日(土)・10月20日(土)・11月10日(土)・12月1日(土)
⑭ ロビー朗読会	49人	7月7日(土)・12月8日(土)
⑮ 青空図書館	130人	・5/19(土)八雲町立図書館前庭・10/8(月・祝)ふれあい交流センターくまいし館 ※外での読書・図書貸出・読み聞かせ・ゲーム・けん玉等遊び用具配置 など
⑯ 第42回文学史跡めぐり	25人	7月24日(火)函館市に向かって (落部:御所の松/森町:榎本軍上陸地/七飯:道の駅/道新函館工場/五稜郭公園)
⑰ 劇団公演	85人	6月30日(土) 「人形劇団 ひよっこ」 人形劇公演
⑱ 図書館フェスティバル	217人	10/6 (土) 1日目 宮澤賢治のドリームランド ーイーハトヴでつけたひかりー ①岩手山猫ツアーへようこそ/やくも朗読サークル・佐藤国男氏 ②第7回幻灯朗読会「どんぐりと山猫」他詩6編/やくも朗読サークル ※ほか、佐藤国男木版画展
		12/22 (土) 2日目 ①えいが上映会 ②「絵本パフォーマンス」岸田典大氏 ③こうさく会リッチ(すらいむ×プラ板)
⑲ 読書感想文・感想画コンクール表彰式	70人	・11月30日(金)表彰式 ・「光陰52号」発行 (270部) ・感想文 240点 / 感想画 173点 (合計 413点)

■平成30年度 熊石総合支所図書室

事業名	参加人数	事業内容
古本リサイクル市	—	11月2日(金)~11月4日(日)※熊石文化祭にて
クリスマス絵本展	—	12月8日(金)~12月25日(月)

■平成30年度「読書感想文・感想画コンクール」審査結果

■鶴田知也賞 2篇

部門・区分	作品名	学校名	学年	氏名
感想文部門	愛せなかった数式	八雲高校	2	鈴木 優伽
感想画部門	アナグマさんのお手伝い	落部小学校	4	目谷 美依奈

■最優秀賞 6篇

■感想文部門 4篇

部門・区分	作品名	学校名	学年	氏名
小学校低学年の部	ちいちゃん、よかったね	浜松小学校	2	北村 望々花
小学校中学年の部	不屈の発明王エジソンを読んで	八雲小学校	3	茂木 幾叶
小学校高学年の部	続けていけば何か出来るようになる	山崎小学校	6	大井 美園
中学校の部	「幸せとは何か」	八雲中学校	3	氏家 充優

■感想画部門 2篇

部門・区分	作品名	学校名	学年	氏名
小学校低学年の部	天国で幸せに暮らしているおに	山越小学校	2	佐藤 なゆた
小学校高学年の部	ウォーターがかけたヘレン	落部小学校	5	藤野 日華莉

■優秀賞 16篇

■感想文部門 10篇

部門・区分	作品名	学校名	学年	氏名
小学校低学年の部	「かえるとし」をよんで	熊石小学校	1	木村 輝
	やさしいおじいさん	落部小学校	2	住吉 寧々
小学校中学年の部	まほうのじどうはんばいきをよんで	八雲小学校	3	片山 美優
	はたらくを読んで	野田生小学校	4	久保田 兼正
小学校高学年の部	家族の愛	野田生小学校	6	飯村 咲紀
	陸上の大切さ	落部小学校	6	村上 咲留
中学校の部	「からくり夢時計」を読んで	八雲中学校	1	水野 桃花
	この本と出会って変わった自分	八雲中学校	2	石黒 梨
高校・一般の部	戦争	八雲高校	2	中野 桃
	『世界から猫が消えたなら』を読んで	八雲高校	2	竹本 香織

■感想画部門 6篇

部門・区分	作品名	学校名	学年	氏名
小学校低学年の部	「おたすけこびととハムスター」をよんで	東野小学校	2	柴田 康佑
	「オオカミグーのなつかしいひみつ」をよんで	東野小学校	2	碓 健太
小学校中学年の部	キラキラ光る星の上のペブル	東野小学校	3	坂本 彩姫
	うちゅうのタコ	落部小学校	4	鈴木 琥太郎
小学校高学年の部	子どもたちを救ったパン	浜松小学校	6	山崎 心花
	パンの缶詰でみんな幸せ	落部小学校	6	吉田 庵史

「八雲町子どもの読書活動推進計画」策定状況について

■時系列経緯

年・月		内 容
平成29年	12 月	計画素案作成
平成30年	1 月	平成29年度 第2回図書館協議会 素案について報告・諮問
	6 月	平成30年度 第1回図書館協議会 報告・諮問
	7 月	庁内関係部局回議
		平成30年 第10回 教育委員会議 報告
	9 月	八雲町議会 文教厚生常任委員会 報告
	10 月	町民意見公募(パブリックコメント)実施
	11 月	町民意見(1件)への回答案について報告・諮問(図書館協議会)
	12 月	町民意見(1件)への回答案について庁内回議
町民意見に対する回答送付		
町民意見に対する回答について情報公開		
平成31年	1 月	平成30年度 第2回図書館協議会 経過報告
	1 月	平成31年 第1回教育委員会議 報告予定
	2 月	2月1日 施行予定
		※施行日から5年を目途に計画期間とする。

以上

平成29年度実施分 八雲町教育委員会事務事業評価について

平成29年度 八雲町教育委員会事務事業・評価個別シート

平成 31 年 1 月 16 日 作成

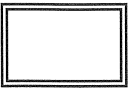
担当課 (部局)	八雲町立図書館	係	管理・奉仕係
施策コード	62131		
法的	法令	条例	その他
根拠等			
実施	○ 直営	委託	その他
方法			

施策の体系	章	6	学ぶ心を培い豊かな人間性を育むまちづくり
	節	2	生涯学習
	細節	1	生涯学習の充実
	主要施策	3	図書館の充実
	施策	1	各種ボランティア団体との連携
評価事務事業名	エントランスホール鑑賞事業		

事業概要	1階エントランスホールの有効活用として、作品展示のほかボランティア団体主催の鑑賞型催事を後援し来館した利用者に自由参加の場を設けるなど、身近なコミュニティエリアとして空間提供を行う。						
事業の目的	(1) 対象 (誰を、何を対象としているのか)	(3) 手段 (どのような手法、手順で行っているのか)					
	図書館利用者	作品展示 (1テーマ約2週間) の希望を募るほか、やくも朗読サークル・八雲音楽協会等、団体活動を兼ねた朗読発表・ミニコンサートの会場としてロビーを提供し、併せて後援協力を行いながら継続的な有効活用を図る。					
	(2) 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	図書利用以外のコミュニティ空間を提供し来館の機会を催しながらより身近な施設として有効活用を図る。					
1 必要性	(1) 町関与の根拠 (町が行う必要がある事業か)	計	1	点			
	○ ①法令等教育推進を図る上で必要な事業。	1点	⑥管理・運営に関する事業。	1点			
	○ ②教育環境の整備及び町民の暮らしに役立つ事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点	追加事由	1点			
	③子どもから高齢者までを対象に生活する上で不可欠な事業。	1点	(説明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。				
	④町の特性や魅力を生かした取組など、戦略的な事業。	1点	町有施設の有効活用の一環として、利用希望者への責任ある支援・協力を図る必要がある。				
	⑤民間等による実施も可能であるが、教育委員会が先導・補完しながら行う事業。	1点					
	(2) 社会情勢や町民ニーズの変化等	計	1	点			
	①国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点	※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。(点数対象外)				
	○ ②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点	(説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。				
	③事業のマンネリ化を避けるため、事業の見直しを図ることによって、成果が上がってきている。	1点	図書館に足を運ぶ機会を設け、より身近な施設として町民利用の間口を広げ、併せて図書利用に向けた来館促進に繋げる働き掛けとして妥当と考える。				
④限られた予算の中であっても、事業実施の優先性・必要性は高い。	1点						
追加事由	1点						
2 有効性	(1) 成果・協働に対する事業の有効性	計	2	点			
	○ ①事業を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点	⑤自主的な生涯学習活動の推進が図られる。	1点			
	○ ②事業の継続により、成果目標の向上が期待できる。	1点	(説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。				
	③他に類似、重複した事業はない。	1点	施設の有効活用と来館への働き掛けとして、継続する事の必要性は高いと考える。				
	④町民参加の意識高揚が図られている。	1点					
3 達成度	(1) 達成度の測定	計	2	点			
	区分	指標 (算式)	単位	H27実績	H28実績	H29実績	H29当初計画
	活動指標 ※具体的な活動の内容	指標① 作品展示等 (算式)	回	16	18	15	15
		指標② コンサート・朗読会等 (算式)	回	1	5	7	6
	成果指標 ※どれだけの成果が現れたか	指標① 作品展示鑑賞者 (算式) 閲覧利用者数別カウント (100人未満/日×5)(100人以上/日×10)	人	1,630	1,795	2,015	1700
		指標② コンサート・朗読会等参加者 (算式)	人	80	188	192	180
	○ ①活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点	(説明) 成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。				
	○ ②意図した成果が得られている。(達成度概ね80%以上)	1点	回数・参加数がある程度保持されており維持継続が期待できる。				
	③あまり成果が出ていない。(概ね60%未満)	-1点					

4 効率性	(1) 事業費の推移 計 0 点																																																																																																																																																																								
	区分	単位	H27決算額	H28決算額	H29決算額	H29事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																																																																
	事業費	千円						低下している	1点																																																																																																																																																																
	国・道費	千円				区分(節)	金額(千円)	○ 変わらない	0点																																																																																																																																																																
	地方債	千円						上昇している	-1点																																																																																																																																																																
	その他	千円						説明																																																																																																																																																																	
	(2) 手法の効率化 計 1 点																																																																																																																																																																								
	○ ①現在の手法は、コスト削減にも寄与している。				1点	④法令等で実施内容や手法等が定められる。				1点																																																																																																																																																															
	②執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地はない。				1点	(説明) 手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																																																																			
	③外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地はない。				1点	活用者との協力関係を築きコストをかけず双方にとってのホール有効活用を図る。																																																																																																																																																																			
項目別点数による評価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">項目別点数による評価結果 A</td> <td colspan="4">項目別点数表</td> <td rowspan="5">→</td> <td colspan="8">必要性+有効性</td> <td rowspan="5">高 達成度+効率性 低</td> </tr> <tr> <td></td> <td>項目</td> <td colspan="2">点数</td> <td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8~</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>2</td> <td>4</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>6</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>2</td> <td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td>2</td> <td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効率性</td> <td>1</td> <td>3</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> </table>										項目別点数による評価結果 A	項目別点数表				→	必要性+有効性								高 達成度+効率性 低		項目	点数		0	1	2	3	4	5	6	7	8~	1	必要性	2	4										6	2	有効性	2						○					5	3	達成度	2											4	4	効率性	1	3										3															2															1															0															-1															-2
	項目別点数による評価結果 A	項目別点数表				→	必要性+有効性								高 達成度+効率性 低																																																																																																																																																										
		項目	点数		0		1	2	3	4		5	6	7			8~																																																																																																																																																								
1		必要性	2	4														6																																																																																																																																																							
2		有効性	2							○								5																																																																																																																																																							
3		達成度	2													4																																																																																																																																																									
4	効率性	1	3										3																																																																																																																																																												
														2																																																																																																																																																											
														1																																																																																																																																																											
														0																																																																																																																																																											
														-1																																																																																																																																																											
														-2																																																																																																																																																											
	<p>担当課評価</p> <p>A</p> <p>※上記の結果を参考に、事業担当課として、町民ニーズ、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 ※評価は、次のA~Dによります。</p>																																																																																																																																																																								
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効率性はいずれも高い)																																																																																																																																																																								
	○ 現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																																																																			
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効率性は低い)																																																																																																																																																																								
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																																																																			
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																																																																			
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																																																																			
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効率性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																																																								
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																																																																			
	必要性等を再検証し事業規模、計画等を見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																																																																			
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																																																																			
D 事業の抜本的見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効率性はいずれも低い)																																																																																																																																																																									
廃止			統合			縮小			凍結		新たな事業への転換																																																																																																																																																														
※事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇒ 廃止可能					条件が整えば廃止検討可能			廃止は困難		その他																																																																																																																																																															
説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。					今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																																																																			
	展示作品提供者・ボランティア団体等ホールを活用する側にとっても、来館する利用者側にとっても、意義のある空間となるよう事業継続に努めたい。																																																																																																																																																																								

A~現状のまま事業を継続または拡充 B~事業の進め方の改善により継続 C~事業規模・内容等の見直しの検討 D~抜本的見直しを検討

二次評価	外部評価委員会の点検・評価		☆コメント	
			担当課評価のとおり	

平成29年度八雲町教育委員会事務事業・評価個別シート

平成 31 年 1 月 16 日 作成

担当課(部局)

八雲町立図書館


係


奉仕係

施策の体系	章	6	学ぶ心を培い豊かな人間をはぐくむまちづくり	施策コード	6.2.1.3.4			
	節	2	生涯学習	法的	法令	条例	その他	
	細節	1	生涯学習の充実	根拠等				
	主要施策	3	図書館の充実	実施	○ 直営	委託	その他	
	施策	4	子どもの読書活動の推進	方法				
評価事務事業名	青空図書館							

事業概要	図書館前庭に本を出し、青空の下で読書に親しんでもらう。前庭を活用したレクリエーションやゲームを行うことでより図書館に親しみを感じてもらい、日頃の利用促進につなげる。 普段図書館を利用できない地域の方にも図書館を身近に感じてもらう。								
事業の目的	(1)対象(誰を、何を対象としているのか)	(3)手段(どのような手法、手順で行っているのか)							
	幼児・児童とその保護者 (2)意図(対象をどのような状態にしたいのか) 通常とは違う環境で本に触れてもらうことで、本に興味を持ってもらい親子で読書に親しむきっかけを作るとともに、図書館の利用促進を図る。	・本を詰めたコンテナを外に並べ自由に見てもらおう。(共通) ・ミニゲームや自由に遊べる場所を作ることなどで敷居を低く参加してもらおう。(共通) ・読み聞かせボランティアサークルの定例読み聞かせ会をイベント内に組み込み、相互に協力しながら運営を行っている。(本館) ・地域の集会所等へ出向き、普段図書館を利用しない町民にも本に触れてもらう。(落部)							
1 必要性	(1)町関与の根拠(町が行う必要がある事業か)	計	2	点					
	○ ①法令等教育推進を図る上で必要な事業。	1点		⑥管理・運営に関する事業。	1点				
	○ ②教育環境の整備及び町民の暮らしに役立つ事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		○ 追加事由	読書教育環境の整備	1点			
	③子どもから高齢者までを対象に生活する上で不可欠な事業。	1点	(説明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。						
	④町の特性や魅力を生かした取組など、戦略的な事業。	1点	子どもと保護者に、読書への関心を高めてもらうきっかけづくり。						
	⑤民間等による実施も可能であるが、教育委員会が先導・補完しながら行う事業。	1点							
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等	計	1	点					
	○ ①国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。(点数対象外)					
	○ ②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点	(説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。						
	○ ③事業のマンネリ化を避けるため、事業の見直しを図ることによって、成果が上がってきている。	1点	イベントを通じて図書館への来館を促し、読書に親しむきっかけづくりを行う。保護者と子供と一緒に参加できるイベントにすることで、親子のふれあいの時間を持ってもらう。						
④限られた予算の中であっても、事業実施の優先性・必要性は高い。	1点								
追加事由	1点								
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性	計	3	点					
	○ ①事業を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		○ ⑤自主的な生涯学習活動の推進が図られる。	1点				
	○ ②事業の継続により、成果目標の向上が期待できる。	1点	(説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。						
	③他に類似、重複した事業はない。	1点	普段図書館をあまり利用されない方も、イベントに合わせて来館し利用者カードを作ってくれるなどしており、利用のきっかけづくりになっている。						
	④町民参加の意識高揚が図られている。	1点							
3 達成度	(1)達成度の測定	計	1	点					
	活動指標 ※具体的な活動の内容	区分	指標(算式)		単位	H27実績	H28実績	H29実績	H29当初計画
		指標①	実施回数		回	/	1	2	2
			(算式)						
		指標②							
	(算式)								
	成果指標 ※どれだけの成果が現れたか	指標①	参加人数		人	/	280	165	180
			(算式)						
		指標②							
			(算式)						
○ ①活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点	(説明) 成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。							
○ ②意図した成果が得られている。(達成度概ね80%以上)	1点	H28年 6/18(土)本館 10:00~15:00 H29年 6/17(土)本館 12:00~15:00 120名 7/22(土)落部 13:00~15:00 45名 ※以降、年度毎、本館1・遠隔域1の予定で実施を継続し恒常化を図りたい。							
③あまり成果が出ていない。(概ね60%未満)	-1点								

4 効 率 性	(1) 事業費の推移				計	0	点			
	区 分	単 位	H27決算額	H28決算額	H29決算額	H23事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額	
	事業費	千円						低下している	1点	
	(財 源 内 訳)	国・道費	千円				区分(節)	金額(千円)	○ 変わらない	0点
		地方債	千円						上昇している	-1点
		その他	千円						説明	
一般財源	千円									
(2) 手法の効率化				計	2	点				
○	①現在の手法は、コスト削減にも寄与している。				1点	④法令等で実施内容や手法等が定められる。				1点
	②執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地はない。				1点	(説明) 手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。				
○	③外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地はない。				1点	総合体育館や学校体育館を使用しているため、最低限の費用しかかからない。				

項目 別 点 数 に よ る 評 価	項目別点数による評価結果	項目別点数表	→	必要性+有効性マトリックス	高 達 成 度 + 効 率 性 低																																																																																																																																																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>点数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>3</td> <td rowspan="2">6</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td>1</td> <td rowspan="2">3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効率性</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		項目	点数		1	必要性	3	6	2	有効性	3	3	達成度	1	3	4	効率性	2	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="8">必要性+有効性</th> <th></th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>低</th> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">高 達 成 度 + 効 率 性 低</td> <td>6</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>2</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>0</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>-1</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>-2</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </tbody> </table>			必要性+有効性											低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高	高 達 成 度 + 効 率 性 低	6												5												4												3								○					2													1													0													-1													-2										
	項目	点数																																																																																																																																																												
1	必要性	3	6																																																																																																																																																											
2	有効性	3																																																																																																																																																												
3	達成度	1	3																																																																																																																																																											
4	効率性	2																																																																																																																																																												
		必要性+有効性																																																																																																																																																												
		低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																																																		
高 達 成 度 + 効 率 性 低	6																																																																																																																																																													
	5																																																																																																																																																													
	4																																																																																																																																																													
	3								○																																																																																																																																																					
	2																																																																																																																																																													
	1																																																																																																																																																													
	0																																																																																																																																																													
	-1																																																																																																																																																													
	-2																																																																																																																																																													

担当課評価		<p>※上記の結果を参考に、事業担当課として、町民ニーズ、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。</p> <p>※評価は、次のA~Dによります。</p>
-------	---	---

一 次 評 価 (担 当 課 評 価)	A 現状にて事業を継続または拡充 (必要性・有効性及び達成度・効率性はいずれも高い)			
	○ 現状のまま事業を継続	事業を拡充して継続		
	B 事業の進め方の改善により継続 (必要性・有効性は高いが、達成度・効率性は低い)			
	事業の簡素化、効率化による改善	執行体制の見直し(外部委託等)による改善		
	事業手法の見直しによる改善	住民参加等の推進による改善		
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善	その他効果的・効率的手法の検討による改善		
	C 事業規模・内容等の見直しの検討 (達成度・効率性は高いが、必要性・有効性は低い)			
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討	対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討		
	必要性等を再検証し事業規模、計画等を見直しを検討	他の事業、類似事業への統合・転換を検討		
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討	その他		
D 事業の抜本の見直しを検討 (必要性・有効性及び達成度・効率性はいずれも低い)				
廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換

※事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨		廃止可能	条件が整えば廃止検討可能	廃止は困難	その他
説 明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。		今後の改善策等を具体的に記入します。		
	<p>参加者数自体は決して多くないが、参加者の満足度は高く、また来たいといった声も多く聞かれることから、事業に対する評価は高いと感じる。本を読むだけのところではなく様々なことが体験できる場所として、あるいは居場所として今後活用してもらえるように、図書館をもっと身近なものに感じてもらうようにしていきたい。</p>		<p>開始・実施時間やプログラム内容を例年少しずつ変更することで、参加しやすい内容になるように工夫を重ねている。今後もよりお客様が参加しやすい内容、参加したいと思うような内容になるように日程や時間までも含めて検討を重ねていく。</p>		

A~現状のまま事業を継続または拡充 B~事業の進め方の改善により継続 C~事業規模・内容等の見直しの検討 D~抜本の見直しを検討

二 次 評 価	外部評価委員会の点検・評価	☆コメント
	